

寺小だより

令和4年度 1月号 NO.10
富田林市立寺池台小学校
校長 阪上 佐智子
☎ 0721-29-1477

人を思いやる心

2学期の終業式前日に地域の方から学校へ、次のような連絡がありました。伏山台小学校の低学年の児童が下校途中に、こけてしまったそうです。そのはずみで、持っていたお道具箱の中身が散らばってしまいました。同じく下校途中だった本校の5年生と6年生の男女数名が、お道具箱の中身を拾い、こけてしまった低学年児童をその子の家まで付き添って送ってあげたそうです。「寺小のやさしい子どもたちに感心しました」と、おっしゃっていました。高学年児童の行動にも、わざわざ良いお知らせをくださった地域の方の気づかいもありがたく、心が温まりました。



寺小と伏小の校区や通学路は入り組んでいるので、登下校や普段の生活ですれ違ったり触れ合ったりすることが日常的にあります。そんな中で、今回困っている子を、とっさに助けた寺小の子どもたちを誇りに思います。寺小のめざす子ども像に「明るく思いやりのある子」があります。人を思いやる心は、一朝一夕に身につくものではありません。学校では普段の生活の中や、道徳の時間、たてわり活動、子どもたち同士のトラブル解決を通して…様々な機会に思いやる心をはぐくんでいます。それとともに、ご家庭や地域の方々が子どもたちの成長を愛情深く見守り、思いやる心を育ててくださっていることが、今回の子供たちの素敵に行動に現れたのだと思います。

伏山台小学校は隣り合った学校で、一緒に金剛中学校へ進学していく仲間です。寺小の子どもが助けてもらったことも、あったことでしょう。これからも互いに思いやる関係が続くことを願っています。



◎四角の中は、子どもたちも読みましょう。



だれかに やさしくしてもらった時に とき どんな きも 気持ちがありましたか？

じぶんが ひと 人に やさしくしたことは ありますか？

3学期は、「がっき思いやりの心おも」を育てましょう。まずは、ひと人にやさしくする、

ひとこまっている人や ひとなやんでいる人の ちから力になることから はじめましょう。